

科目コード 3123461

配当学年 2

科目名 ソーシャルメディア論

教員名 小松 久美子

## 【授業の到達目標】

- 1.さまざまなソーシャルメディア・SNSの特徴を説明できる
- 2.ソーシャルメディアを用途に応じて戦略的に運用・使い分けできる

## 【授業のテーマ】

みんなで作るソーシャルメディア。実際にシステムを運用、利用しよう。  
情報伝達や情報共有に欠かせないソーシャルメディアをうまく使えるようになって、実社会でのイベント、広報活動に活用しよう。

## 【授業概要】

ソーシャルメディアの種類と定義、歴史から始め、現状のいろいろなソーシャルメディアの事例研究をする。  
インターネット、スマートフォンやタブレットの普及でSNSに代表されるソーシャルメディアが実現した経緯について再確認し、実際にソーシャルメディアを運用・実用し、メディアとしてのソーシャルメディアの活用方法やマーケティング戦略を考えた実践も目指す。  
ウェブとTwitterやFacebookの連携アイデア、LINEスタンプ制作などを通して、実際にソーシャルメディアで情報発信したり、ソーシャルメディアの実例をみんなで集めて、議論していく。その上で、新しいソーシャルメディアやSNSの使い方を考えてみる。  
その際、ワークシートやコメント用紙に記入したり、グループワークやグループディスカッションしたりしながら講義をすすめる。  
講義では、C-learningを活用する。講義の感想や質問などを講義アンケートを毎回実施する。次回にその内容を元に質疑応答を行うので、反復しながら理解を深めることができる。

この講義に続く「ソーシャルメディア特論」でソーシャルメディアの運用・利用を実践するための知識を習得することも目標となる。

## 【準備学習】

次回の講義内容について予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと  
毎回の学習についてC-Learningのアンケートに回答すること  
講義終了時に示す課題がある場合、その課題についてレポートを作成すること  
講義で取り上げたソーシャルメディアを実際に見て、使ってみること

## 【授業計画】

1. ガイダンス
2. ソーシャルメディアの分類
3. ソーシャルメディアの歴史
4. いろいろなSNSの仕組み、長所、短所
5. LINEの実利用
6. Twitterの実利用
7. Facebookの実利用 基本編
8. Facebookの実利用 応用編
9. Instagramの実利用
10. Youtubeによる動画配信 基本編
11. Youtubeによる動画配信 応用編
12. Ustreamによる動画配信 基本編
13. Ustreamによる動画配信 応用編
14. 複数のソーシャルメディアの連携
15. まとめ

授業計画は、進度等に応じて変更になることがある。

## 【評価方法】

平常点：70%、レポート：30%

平常点として、(1)講義中の発言や質問の内容、(2)講義のC-learningアンケートへの回答、(3)グループワーク・ディスカッションへの積極的参加、(4)講義への参加態度、(5)講義中の提出物、(6)課題レポートの提出を評価する

## 【テキスト】

使用せず  
レジュメを配布(C-learningの「教材倉庫」)  
(テキスト ISBN)

## 【参考文献】

藤代裕之『ソーシャルメディア論：つながりを再設計する』(青弓社)  
その他、C-learningに提示。

## 【オフィスアワー】

研究室に掲示。事前にアポイントをとること。  
C-learningの「相談室」でも連絡、相談を受け付ける。

## 【学生へのメッセージ】

ソーシャルメディアシステムを実際に運用・利用し、新しいソーシャルメディアの使い方をみんなで考える参加型の講義。原則として「ソーシャルメディア概論」を履修済みであることが望ましい。